

第4回福山市営競馬場跡地利活用検討懇話会 議事概要

1 日 時

2014年（平成26年）2月12日（水）19:00～20:00

2 場 所

福山市役所本庁舎6階 60会議室

3 出席者

石川委員，奥山委員，垣木委員，北村委員，喜多村委員，平委員，武井委員，津田委員，土屋委員，壺井委員，福万委員，富士委員，藤井委員，三島委員，村上委員，森近委員，山本委員

4 議事要旨

- 「福山市営競馬場跡地利活用基本構想（素案）」について，事務局から説明が行われた後，委員より意見が出された。

（意見の概要）

- 23 ページで工事着工が2017年度となっているが，もう少し早くならないのかというのが地区の要望である。早く行うという考えはあるか。
⇒ 体育館，公園等広大な計画になるので，基本的には来年度基本計画を策定していく中で規模等について固めていくが，基本設計，実施設計等に2年程度かかる見込みである。公園整備及び暫定利用については，なるべく早く着手していきたいとは考えているが，本格的な公園・体育館を整備するにあたっては設計期間がそれなりに長くなると想定している。
- 競馬場の観客席のあるビル2棟は壊す必要があると思うが，市としてそれらをいつ壊す予定か。また，3月で競馬場の関係者が引き上げると聞いたが，その後の管理はどこがするのか。防災関係（火事等）を懸念しているので早期に解体を行っていただきたいというのが地域の要望であるが，予定はどうなっているか。
⇒ スタンド等の解体については，補正予算で解体設計は予算計上させていただいている。どれくらいを目途にということでは明らかではないが，まず解体設計を行い，その後，解体という流れになると思う。いつまでに解体完了するかについては，現時点では決まっておらずお示しできない状態である。施設の管理については，引き続き財政局の方で施設管理を行っていく。
- 4月から管理はしてもらえるとということか。引き上げて留守になるということはないのか。
⇒市の所有建物であるので，どこも管理しないということはない。
- どのあたりから具体的に進むのかがはっきりしない。基本構想であるから，基本構想に基づいて具体的なものが計画され，予算も伴うが，それらの具体的なことを今後ど

この部門でどういう形で進めていくのかは現時点で分かっているのか。

⇒ 現時点では、新年度において、建物規模及び公園の機能等について基本計画の中で検討することとしている。基本的には市で検討していくことになる。はっきりしたことは申し上げられないが、何らかの形で皆さんの意見を聴く場を設けるかを現在検討している。

○ これまでの3回で具体的な意見が出て、文章にしてくださったものを改めて読ませていただいたが、この場では基本構想に対しての意見とさらに具体的な施設に対する要望等のどちらを言えば良いのか。

⇒ 前回の懇話会でも交通アクセス等、様々なご意見をいただいたところである。それらについては、今後、基本計画策定の中で検討していきたいと思う。どのようなものでもご意見があればこの場で伺わせていただく。

○ 昨日、竹ヶ端の広いグラウンドで24チーム関係者含め800人が集まったソフトボール大会があったが、聞くところによると会場がなかなか取れないとのこと。箕沖球場、駅家公園等があるが、今後目白押しに大会があり、会場を取るのに困るということを知ったので、競馬場跡地に多目的広場が欲しい。グラウンドを確保できても狭いという問題もある。一方で、チームを作れないという現状も出てきている。そういった具体的な要望もある。

⇒ どのような用途にも使えるような多目的広場は、基本構想の中でも例示させていただいており、市民アンケートでもそのような意見があったことは認識しているので、この場でこうするとは言えないが、併せて検討させていただく。

○ 整備スケジュールの案が出ているが、その中で2014、2015、2017年とある。その間は、市としては市制100周年の事業が時期的に重なっているのではないかと思う。そうした中で32ページの環境の整理の機会・外部環境の欄に、2020年の東京オリンピックとあるが、それらを考え合わせると少し遅いのではないか。そのあたりはどう考えているか。

⇒ 東京オリンピックが開催されて、これから健康の意味も含めてスポーツが盛んになるということで機会として挙げさせていただいている。もちろん、総合体育館等を想定したものであるが、スケジュールについては先程説明させていただいているが、2017年度に工事着手とさせていただいている。できるだけ早くできるようには努力して参りたい。

⇒ お二方からスケジュールについてご意見あった。このスケジュールは最短に近いスケジュールであることはご理解いただきたい。基本構想は皆様にご協力いただき1年というタイトなスケジュールでやってきた。しかし、基本計画の中にはまだまだ機能等、具体的な部分が盛り込まれていく。様々な団体や市民の意見もより具体的になりシビアになってくると思う。また15haということになると位置付けをしっかりとっておかないと手戻りになることもある。他市でもこのような10ha以上の取組を行っているところは多々あるが、だいたい最短で基本構想が1年とすると基本計画には1年以上、長いところでは3~4年かけているところもある。ただし、我々としては委員から意見があったように、市の中心部であるし、市の課題解決に資するというので、できるだけ早くということでこのスケジュールにさせていただいている。さらに民間活力の導入の問題がある。仮にPFI事業となるとそれだけで約2年かかることになる。諸々を考慮した上で、最短でいけばこういう形でできるのではないかという案を示させていただいている。やはりかなりタイトなスケ

ジュールであるので、点線で書かれている程度の延長は十分ありうるという意味で書かせていただいている。今後どういう形で進めていくかという質問があったが、組織としては企画政策部が中心になって検討を進める。今度は実施になっていくので、現在横の連携ということで、内部の組織の検討を行っている。今後については決まっていないが、より実効性を高めるために、内部の検討組織の枠を広げた形を考えている。市民の皆様のご意見については、現段階の私の考えであるが、これまで構想に関して様々な意見や具体的な機能についての提案をいただいた。それらの経過を基本計画につなげていく上で、一番色々ご存じなのはこの場の委員だと思っている。我々としては、ここで終わりというよりはこちらからお願いして基本計画を進めていく段階でもご意見をいただくのが良いと思っているので、この場を借りてお願いさせていただきたい。

- 一つ心配なのが、15 ページと 17 ページの関係になる。15 ページの 9 つの視点で導入機能の評価をして、17 ページの 8 つに絞ったということだと思う。そこで気になるのが、体育館は中途半端なものはいけないという意見があったが、その辺りが薄れてしまっているのではないか。9 つの視点から何を導入するかということで評価してきたが、公園やスポーツの機能の中でも、グローバルの視点や広域的な視点、都市ブランドの視点を忘れた施設になってはいけない。施設・設備が中途半端にならないようにするとか、教育委員会や他部署と十分に連携をとっていかないといけないという部分が方向性として薄れてしまっているのではないか。

例えば 100 万本のばらのまちとあるが、市民 50 万人が 1 人 2 本ずつ植えれば 100 万本であるが、他都市の人が 100 万本のばらのまちというイメージは持たないと思う。都市ブランドとして打ち出すにはどうすればよいのかという視点を忘れてはいけない。構想の段階で都市ブランドの視点やグローバルの視点を強調しておく必要があるのではないか。

⇒ 具体的には基本計画になるが、基本構想にどのようにして入れていくのかは検討させていただきたい。

⇒ 基本方針のコンセプトのところで述べているつもりであったが、我々に思い込みがあり、終盤に行くに従ってそれらのフレーズがなくなってしまうので、次のパブリックコメントまでに事務局で調整させていただく。

- 9 項目あるが、すべてできるとは思っていない。この中で順番を付けていかざるを得ないが、基本的に財政的な問題が一番大きい。5 年かかるか 10 年かかるかで順番をつけていかざるを得ない。なおかつ民活を導入するかという問題もある。やはり緊急を要することは市民の皆様もある程度分かっておられると思うので、重点を 2, 3 絞って基本計画に取り込めばよいのではないか。6 割できればよいのではないかと思うが、せつかくの土地であるので、急いで全て使わないといけないということはないから、経過的に広場として使える部分は使っていき、市民のニーズの変化に対応した土地利用に将来展望も含めて予算等を勘案しながら決めていけばよいのではないか。

⇒ 中・長期的に検討していく機能としては、基本計画の中では暫定利用という形になると思うが、ある程度は想定していきたい。ただ、どれくらいの機能が入れるかどうかは今後、中・長期的な視点で決定していきたい。そのための暫定利用であるし、将来活用で

きる形での公園機能ということも想定している。来年度の基本計画策定では、残りの機能も想定しながら進めていきたいと思っているが、具体的な決定はまだ先になると考えている。

- 17 ページの導入機能のところに、できれば公園に市営競馬場の記憶を後世に伝えていくメモリアル的なものを整備することを取り入れていただきたい。

老朽化した体育館についても、できるだけ早く着工していただきたい。南海トラフの大規模な災害が起きた場合、福山は広島県内では最も大きな被害を受けると出ているので、体育館をできるだけ早く着工していただくと安心できると考えている。

⇒ 競馬場のメモリアル要素については、今後検討するが、皆さんから意見をいただいた中で基本構想に反映させていただいた部分である。体育館の早期着工は、市でも喫緊の課題と認識しているので、早期着工を旨としてまいりたいという考えである。

- 32 ページの脅威の部分に「地方自治体の財政環境の悪化と公共投資余力の減少」とあるが、国も地方も財政的にとても大変な時期で、そういう点ではこのまとめ方で良いのではないかなと思う。ただ一つだけ、15ha をそのままにしておくのはもったいないので、PR 的にもイベント会社に提案させて、ばら祭りなり B 級グルメなりのイベントをやりながら様子を見ることが含めて考えれば良いのではないかな。

⇒ 暫定利用も含めて検討していきたい。

- 先ほど多目的広場に関する要望を具体的に出したが、竹ヶ端のような施設は古くなっている。きれいなトイレが必要だと思う。また、予算の問題もあるが、駐車場を地下にするということも考えられるのではないかな。

⇒ 駐車場については、財政面を合わせながら検討していきたい。

- 今日いただいた意見は、事務局に一任していただき、2 月の中旬にはパブリックコメントにかけさせていただき、その意見も踏まえて最終の案ということで懇話会にかけさせていただきたい。

以上